



「安心」と「まごころ」を大切に
お客様の「幸せ」の為に
精一杯尽力いたします！

『初めてのマイホーム』ハンドブックを作成したワケ

「マイホームが欲しいなあとは思うけど、何からスタートすればイイのか、よくわからない…」
多くのお客様から、そんなご相談をいただきます。

35年間もの長い間、毎月、毎月、支払っていく住宅ローン。
当たり前のことですが、**絶対に『失敗』はしたくないもの**です。

しかしながら、私たち不動産のオオタニに売却のご相談にいらっしゃるお客様の中には、
「実際に住んでみたら、日当たりが悪くて、自分たちのイメージと全然違う…」
「自宅を見る度に、タメ息がでる…こんな家のために 35 年もローンを払うの…」

残念ながら、こんな後悔をされている方が沢山いらっしゃいます。
「本当にそんな失敗ってあるの??」あなたもそう思われるかもしれません。

しかし、実際にインターネットで不動産を検索すれば、
「中古戸建」や「中古マンション」って売りに出されていますよね。
「新築」の物件数と同等、あるいはそれ以上の「中古物件」が今もなお、売り出し中になっています。

当然、その「中古戸建て」には売主さんがいらっしゃるワケですが、
その方も、家を買う時に35年もの住宅ローンを組んで購入したはずです。では、ちょっと想像してみてください。
その売主さんは、初めから「家売り出す前提」で家を購入したと思いますか？

恐らくですが、何らかの理由があって、仕方なく手放すことになったのだと思います。
ではなぜ、こんな「失敗」がおきてしまうのでしょうか？

実のところ、それは**“マイホームの選び方”**に原因があるのだと思います。
確かに、沢山ある物件の中から、自分にあったマイホームを選ぶことは簡単ではありません。
でも、キチンとした手順を踏むことで、簡単にこの失敗を防ぐことができるのです。

私たちは、マイホーム選びを成功させるためには、不動産屋の担当者に何でも任せるのではなく、
お客様自らも、積極的な勉強が必要だと考えています。
そのために、この「初めてのマイホーム」ハンドブックを作成しました。

このハンドブックは、私たちのこれまでの経験のすべてを詰め込んで作成しています。
少し長い内容になってはいますが、これに沿ってマイホーム選びをすすめていけば、
「不動産屋の担当者は知らない！」と言えるほどの内容になっていますので是非ご覧ください。



マイホーム選びで一番大切なこと

1. 「目的」をハッキリさせる

「なぜ、マイホームが欲しいのですか？」
あなたはこの質問にハッキリと即答することはできますか？
この答えが漠然としていると「良い買い物」はできません。

ではなぜ、良いお買い物ができないのでしょうか？

それは、マイホーム探しを進めていくにあたって、
色々な家を見るたびに、だんだんと判断基準がずれてきてしまっていて、
当初の目的とはちがったマイホームを選んでしまう危険性があるからです。

ここでのポイントは、「マイホームを購入する目的をハッキリさせる」こと。

ここでちょっと考えてみましょう。
あなたの「目的」は何でしょうか？



2. まずは「不満」を明確にすることからスタートしましょう！

マイホーム探しをされる方のほとんどは、賃貸住宅に住んでいるケースが多いと思いますが、
賃貸は、オーナーさんからの借り物でもありますし、色々とお近所さんとの気遣いも必要でしょう。

「毎月当たり前に払っている家賃だけど、よく考えてみたらもったいない…」
「家族が増えたので部屋数が足りず、手狭になってしまった…。収納も全然なくて部屋が片付かない…。」
「子供の夜泣きに、近所からクレームがきそうでヒヤヒヤ…。子供のためにもゆとりのある空間で生活させてあげたい…。」

私たちにご相談いただくお客様の「不満」は大体こんな感じです。
「お金の問題」「広さの問題」「近所付き合いの問題」などなど、上記は一例ですが、
あなたも今のお住まいに何かしら「不満」があるので、マイホーム購入を考えるようになったのではないのでしょうか？

だとしたら、**その「不満」を解決することが、一番の「目的」となるべきです。**
これを最後まで絶対に覚えておいてください。実はたったこれだけのことで多くの「失敗」は防げるのです。

たとえば、「家賃の負担は大きいし、もったいないから、手頃な中古住宅を探そう！」と考えた方がいたとします。
近くの不動産屋さんに相談してみたら、「中古より、新築の方がイイですよ！」と勧められ、
もともと考えていた予算より全然高いけど格好のイイ新築を見つけました。
予算オーバーだけど新築でオシャレだし、頑張って買っちゃおう！みたいなケース。

もともとは家賃の支払いが負担なので、安い中古を買おうと思ったのに、
不動産屋さんから勧められているうちに目移りしてしまい、
高い新築を買ってしまって、数年後住宅ローンが払えなくなり、
結果「中古物件」として仕方なく手放すことになるわけです。

なので、あなたは**「目的」をハッキリさせ、
その「目的」にあったマイホーム選びをしなくてはなりません。**
もう一度考えてください。あなたの「目的」は何でしょうか？

このハンドブックを読み終わる頃にはきっと、
あなたの「目的」にあったマイホームに出逢うことができるはずです。

